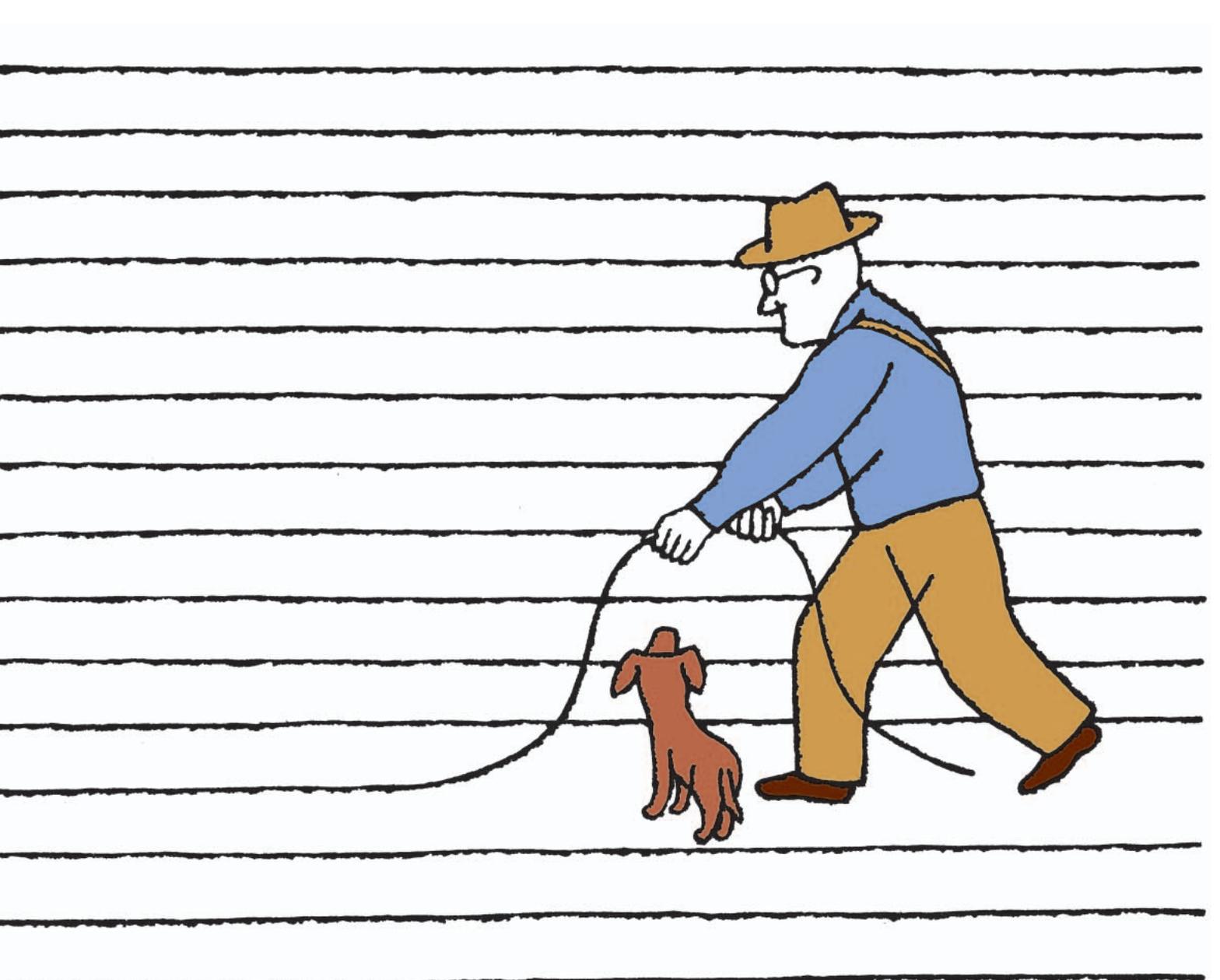


全国200社から編集部が厳選

決定!

ADSL

プロバイダー



サービス開始当初はわずか数社しかなかったADSL対応プロバイダーは試験サービス開始からわずか1年ちょっとで全国約200社にまで増加した。まだADSLが開通していない地域があるのは問題だが、とりあえず自分の住んでいるところでもADSLが使えるようになったら、そのなかでイチバンのプロバイダーを使いたい！と思うのは当然のこと。そこで、編集部がそれらのプロバイダーを安さや機能の豊富さなどで比較し、ADSL対応プロバイダーのランキングを決定した。そのほかにも2万人以上の意見を集計したアンケートをもとに現在のADSLサービスに対するユーザーの意見や要望、人気度なども分析。すでにADSLを使っている人にも、まだの人にも役に立つADSLに関する最新のトレンドをまとめてみた。ADSLの導入で後悔したくない人にとってはまさに必読といえるだろう。“これから”の人はぜひこれを読んでハッピーなADSLライフをスタートしよう！

大澤文孝 + 菅野 哲 + 編集部
Illustr: Tojimbara Norihisa

ランキング

ADSLプロバイダー 人気ランキング

ADSLに対応しているプロバイダーは、すでに200社を超えている。いまやADSLであっても、プロバイダーを選ぶ時代がやってきたのだ。ここでは、すでにADSLを導入したユーザーを対象としたアンケートの結果から、ADSL時代のプロバイダー選びの傾向を見ていくことにしよう。

ADSL人気プロバイダーベスト15 (総数1870人)

プロバイダー名	人数	満足度					
		料金	スピード	サポート	ウェブ	メール	回線品質
① @nifty	304	47.4	72.4	70.1	72.7	79.3	69.7
② 東京めたりっく通信	203	72.4	⑧80.3	59.1	69.5	87.2	70.9
③ ぶらら	141	①92.2	54.6	82.3	③79.4	90.8	72.3
④ DTI	139	62.6	①83.5	②88.5	77.7	③95.0	83.5
⑤ BIGLOBE	110	51.8	70.9	77.3	76.4	88.2	64.5
⑥ So-net	103	52.4	75.7	83.5	61.2	88.3	76.7
⑦ ASAHIネット	98	72.4	68.4	84.7	69.4	80.6	79.6
⑧ ODN	80	56.3	78.8	71.3	41.3	76.3	77.5
⑨ OCN	72	37.5	55.6	69.4	47.2	76.4	72.2
⑩ 名古屋めたりっく通信	53	②83.0	75.5	64.2	77.4	86.8	69.8
11 AT&T WorldNet	51	③72.5	76.5	78.4	②80.4	90.2	②90.2
12 IJ4U	45	60.0	80.0	①91.1	55.6	①100.0	①93.3
12 WAKWAK	45	68.9	75.6	80.0	①84.4	93.3	③84.4
14 リムネット	43	39.5	②81.4	③88.4	79.1	②95.3	67.4
15 Panasonic Hi-HO	42	50.0	69.0	83.3	73.8	88.1	61.9

【16位】DION【16位】DreamNet【18位】SANNET【19位】Highway Internet【20位】大阪めたりっく通信

ダイヤルアップ 人気プロバイダーベスト20 (総数15309人)

プロバイダー名	人数
① @nifty	1868
② OCN	1068
③ BIGLOBE	1047
④ So-net	977
⑤ ODN	913
⑥ DION	760
⑦ DTI	556
⑧ ASAHIネット	533
⑨ ぶらら	467
⑩ DreamNet	345
11 Panasonic Hi-HO	329
12 IJ4U	263
13 ZERO	255
14 livedoor	213
15 TikiTikiインターネット	210
16 WAKWAK	198
17 AT&T WorldNet	194
18 SANNETインターネット	149
19 InfoSphere	147
20 JustNet	138

【21位】アルファインターネット【22位】Highway Internet【23位】東京電話インターネット【24位】リムネット【25位】BEKKOAME【26位】AOL【27位】AIRインターネット【28位】interQ【29位】KCOM【30位】ドルフィンインターネット

ADSLでも強い@nifty
めたりっく通信も大健闘

今回のアンケートでは、ADSLユーザーがもっとも多く利用しているプロバイダーは、@niftyという結果になった。@niftyはダイヤルアップ接続でもユーザー数はトップで、この人気をADSLでも引き継いだ格好だ。2位は東京めたりっく通信で、業界をリードするADSL専業のプロバイダーとしての健闘ぶりが光る。一方、3位以下にはぶららやDTIなど、ダイヤルアップ接続の人気ランキングとほぼ同様に、大手プロバイダーが並んでいる。

また、料金やスピードといった各サービスごとのユーザーの満足度では、ぶらら、DTI、AT&T WorldNet、IJ4U、リムネットといった、いずれも老舗の大手プロバイダーが高い評価を受けている。こうしたサービス面では、やはり長年に渡ってサービスを続けてきたプロバイダーの強みが出ていると言える。

CATVインターネット人気プロバイダーベスト10 (総数2677人)

プロバイダー名	サービスエリア	人数
① @NetHome (J-COM、旧タイタス)	北海道、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山口、福岡	439
② ZAQインターネット	滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山	398
③ @CATV (東急ケーブルテレビ)	東京、神奈川	146
④ Aitai net	愛知、岐阜	47
⑤ ケーブルネット埼玉	埼玉	46
⑥ 阪神シティケーブル	兵庫	46
⑦ THNビック東海	静岡	41
⑦ MEDIACAT	愛知	41
⑨ Ctk Net	神奈川	38
⑩ 小田急ケーブルビジョン	東京、神奈川	30

【11位】SCN-NET (神奈川)【12位】CTY (三重)【13位】KATCH (愛知)【14位】CTSインターネット (神奈川)【15位】北Qネット (東京)【15位】Z-LAN (三重)

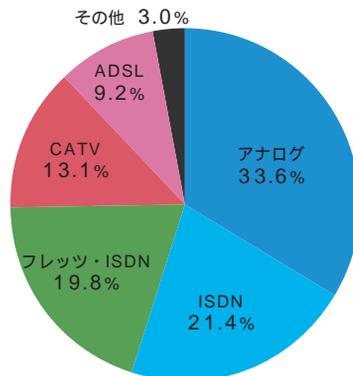
回線事業者別ランキング

回線事業者名	人数
1 フレッツ・ADSL	1076
2 イー・アクセス	380
3 東京めたりっく通信	204
4 名古屋めたりっく通信	53
5 ODN (J-DSLプラン)	33
6 So-net	29
7 アッカ・ネットワークス	20
8 大阪めたりっく通信	19
その他	56

フレッツ・ADSLが過半数
イー・アクセス、めたりっくが続く

ADSLの回線事業者別に見ると、NTT東西のフレッツ・ADSLを利用しているユーザーが圧倒的に多く、全体の過半数を占めている。フレッツ・ADSLは全都道府県でサービスを開始していて、地域によってはフレッツ・ADSLしか選択肢がない場合も多い。他社もエリアの拡大を予定しているものの、フレッツ・ADSLはすでに200社以上のプロバイダーが対応しており、この点でも今後もフレッツ・ADSLの優位性は高いものと思われる。

利用しているアクセスライン



ダイヤルアップユーザーの 半数近くが乗り換えを検討

今回のアンケートの回答者の中では、ADSLユーザーは全体の9.2パーセントとなっている。CATVインターネットの13.1パーセントと合わせると、全体の約1/4のユーザーがブロードバンドを利用していることになる。

ADSLへの乗り換えを検討しているかという質問については、ダイヤルアップユーザーの40パーセント以上が乗り換える予定があると回答している。こうしたユーザーが順調にADSLに移行していけば、ダイヤルアップユーザーとADSLユーザーの比率が逆転するほどの勢いだ。乗り換え予定がないと答えた人でも、ADSLサービスの提供地域外であるという理由がもっとも多く、潜在的なADSLユーザーはさらに多いと予想される。一方で、CATVインターネットユーザーではADSLへの乗り換えを検討しているのは13.9パーセントで、現在のサービスに十分満足していることがうかがわれる。CATVインターネットは地方での展開も進んでいるため、CATVインターネットとADSLは競い合っただろう。

ADSLに乗り換えない理由として「料金が安い」という項目を挙げた回答者も多いが、ADSLの料金はさらに下がる可能性が高い。Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社は、月額2,280円という低価格のADSLサービス「Yahoo! BB」^{Jump}を8月1日から開始すると発表した。7月にはフレッツ・ADSLの値下げも予定されており、ADSLサービスの低価格化はますます激しくなってきた。

^{Jump} bb.yahoo.co.jp

ADSLへの乗り換え予定



ADSLに乗り換えない理由 (ダイヤルアップユーザー)

サービス対象地域外だから	1643
料金が安いから	1418
申し込みの面倒だから	164
申し込みがよくわからないから	194
現在の回線がISDNなので、変更が面倒だから	1521
CATVインターネットなど、他のサービスの方を検討しているから	1141
それほどインターネットを利用していないから	752
常時接続するとセキュリティ面で不安があるから	164
現在利用しているプロバイダーが対応していないから	132
その他	1069

乗り換えない理由 (CATVインターネットユーザー)

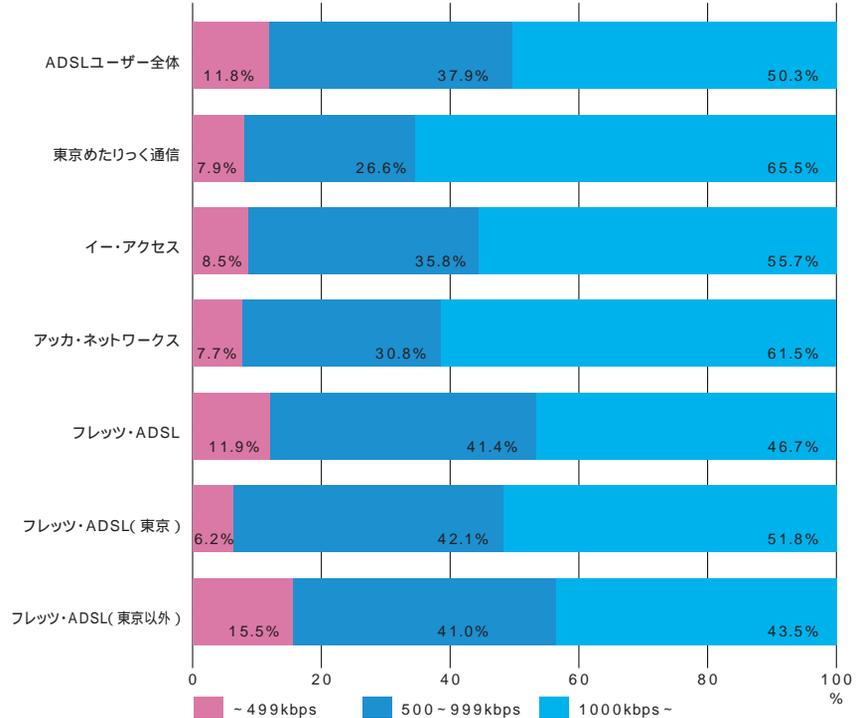
サービス対象地域外だから	188
料金が安いから	160
申し込みの面倒だから	73
申し込みがよくわからないから	41
現在のサービスに満足しているから	1264
FTTHなど他のサービスを検討しているから	211
それほどインターネットを利用していないから	13
その他	321

スピードは半数以上のユーザーが1Mbps以上

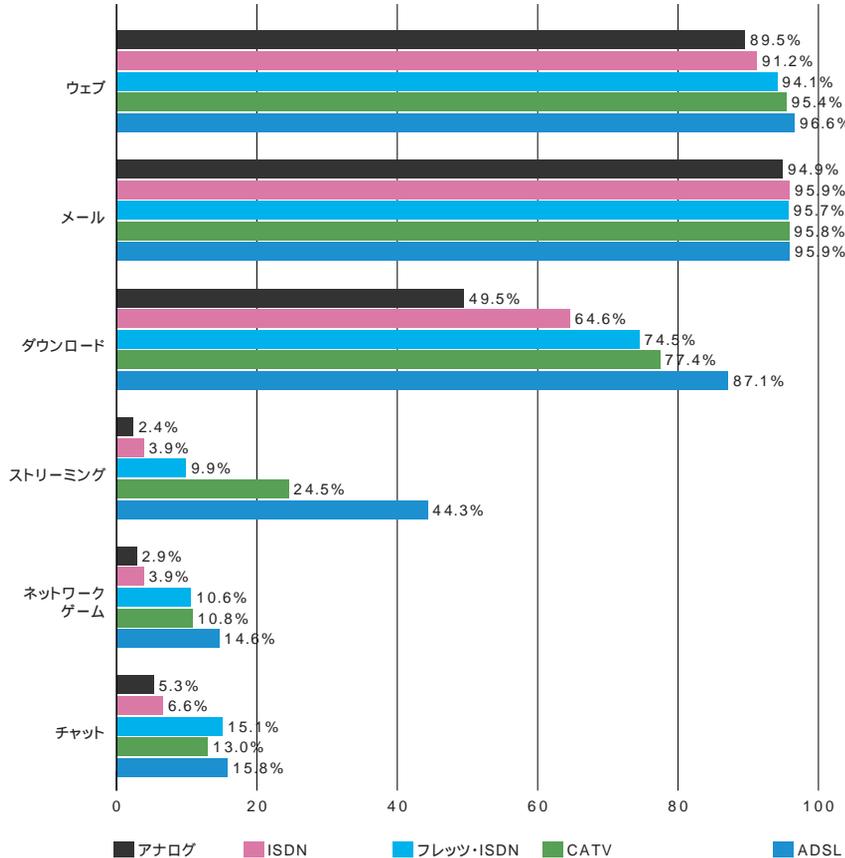
ADSLは1.5Mbps程度の通信速度を実現するサービスだが、実際には回線状況などによって遅いスピードでしかサービスが受けられないユーザーも多い。そこで今回のアンケートでは、ADSLを利用しているユーザーに対して、実際のスピードはどのくらいかという質問を試みた。ADSLユーザー全体では半数以上のユーザーが1Mbps以上と回答しているが、逆に言えばそれ以下のユーザーも半数近くに達していて、500kbps未満と答えたユーザーも10パーセント以上存在している。

回線事業者別に見ると、東京めたりっく通信やイー・アクセスに比べて、フレッツ・ADSLのほうが1Mbps未満のユーザーが多くなっている。フレッツ・ADSLが地域IP網を経由する形のサービスであることに加え、フレッツ・ADSLは全国でサービスを展開しているため、地方では電話局からの距離が遠くなるケースが多いことが要因ではないかと想定される。

回線の実測度（下り方向）



インターネットの主な用途



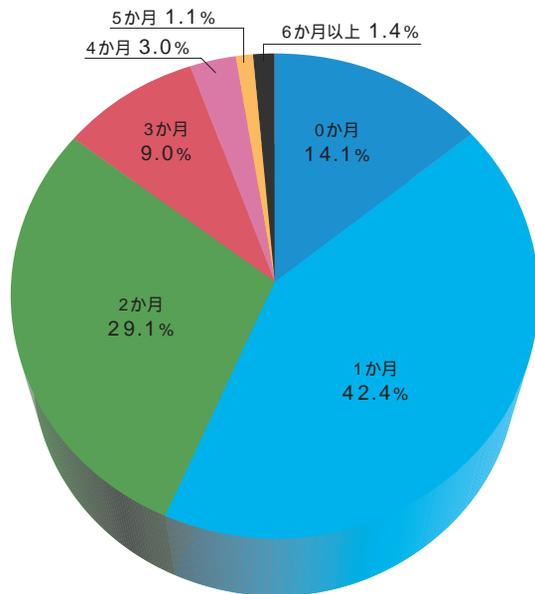
ADSLユーザーはストリーミングに強い興味

アンケートでは、インターネットをどのように利用しているかという質問を、すべてのアクセスラインのユーザーに対して行った。

ウェブやメールといった項目ではさすがにほとんど差がないが、ダウンロードに利用していると答えたユーザーは、スピードが速くなるほど回答者が増える傾向がはっきりしている。また、ストリーミングについては、アナログやISDNのユーザーでは10パーセント以下しか利用していないが、CATVユーザーでは24.5パーセント、ADSLユーザーでは44.3パーセントにも達している。動画をはじめとするストリーミングコンテンツを提供するサイトも増えているが、こうしたサイトの成功には、アクセスラインのブロードバンド化は必須条件だと言ってもいいだろう。

また、ネットワークゲームやチャットの場合には速度はそれほど必要ないため、フレッツ・ISDNとADSL、CATVインターネットのユーザー間での差はあまり見られない。

申し込みから開通までの期間



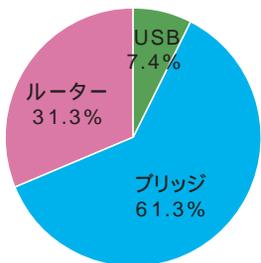
2か月以内にほとんどのユーザーが開通

ダイヤルアップの場合には、オンラインサインアップで申し込んだその日から使えるプロバイダーがほとんどだが、ADSLの場合には残念ながらサービスが利用できるまでにはある程度の待ち時間を覚悟しなくてはならない。ADSLサービスが開始された当初は、申し込みに対して工事が間に合わず、開通までかなり待たされるケースが多く報告されていた。しかし、現在ではこうした状況も改善されてきているようだ。

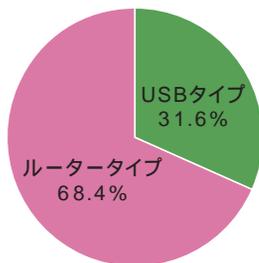
今回のアンケートの結果でも、ADSLを申し込んだ翌月に開通したユーザーが42.4パーセントと最も多く、申し込みの当月に開通したユーザーも14.1パーセントに達している。

ただし、開通が翌々月になったと答えたユーザーも29.1パーセントとかなり多く、現状では2か月程度は待たされる可能性があると考えておいたほうがいだろう。

ADSLモデムのタイプ



モデムタイプを選ぶケースでは



性別

	全体	ADSLユーザー
男性	18892(92.8%)	1775(94.9%)
女性	1425(7.0%)	91(4.9%)
無回答	48(0.2%)	4(0.2%)

年齢層

	全体	ADSLユーザー
20歳未満	310(1.5%)	19(1.0%)
20～30歳	4411(21.7%)	497(26.6%)
30～40歳	8645(42.5%)	805(43.0%)
40～50歳	4745(23.3%)	390(20.9%)
50～60歳	1513(7.4%)	121(6.5%)
60歳以上	711(3.5%)	35(1.9%)
無回答	30(0.1%)	3(0.2%)

モデムタイプはブリッジタイプが主流

ユーザーが利用しているADSLモデムの種類は、ブリッジタイプが61.3パーセントと最も多くなった。ただし、これはフレッツ・ADSLではモデムがブリッジタイプしか選べないことが大きな要因だ。一方、イー・アクセスやアッカ・ネットワークスのように、USBタイプとルータータイプが選択できる場合には、多くのユーザーはルータータイプを選んでいる。これは、USBタイプは初期費用は安いものの、1台しか接続できない点が影響していると思われる。

回線のタイプ



地域

	全体	ADSLユーザー
北海道	556(2.7%)	18(1.0%)
東北	849(4.2%)	19(1.0%)
関東	9820(48.2%)	1253(67.0%)
北陸	674(3.3%)	13(0.7%)
中部	520(2.6%)	21(1.1%)
東海	1823(9.0%)	140(7.5%)
近畿	3568(17.5%)	307(16.4%)
中国	864(4.2%)	41(2.2%)
四国	459(2.3%)	11(0.6%)
九州	1149(5.6%)	36(1.9%)
無回答	83(0.4%)	11(0.6%)

ADSLユーザーは都市部に集中

今回のアンケートは、本誌のホームページ上で2週間に渡って実施したもので、全体では20,370人の回答が得られた。ただし、ADSLのサービスエリアは現状では大都市部に限られているため、回答者の構成比率もADSLユーザーについては圧倒的に首都圏と関西圏に偏った状況になっている。ユーザーのブロードバンド化は確実に進んでいるものの、都市部とそれ以外の地域の格差はますます広がっている。ADSLにとって、こうした点は今後の重要課題となるだろう。

ポイントは初期費用とコース選択 料金で選ぶ ADSLプロバイダー

それでは、料金やサービスといった各種の項目ごとに、プロバイダーのランキングを見ていこう。なお、今回のランキングではフレッツ・ADSL対応のプロバイダーについては、10県以上でサービスを展開しているプロバイダーのみを対象としている。

Ranking-1 月額料金ランキング

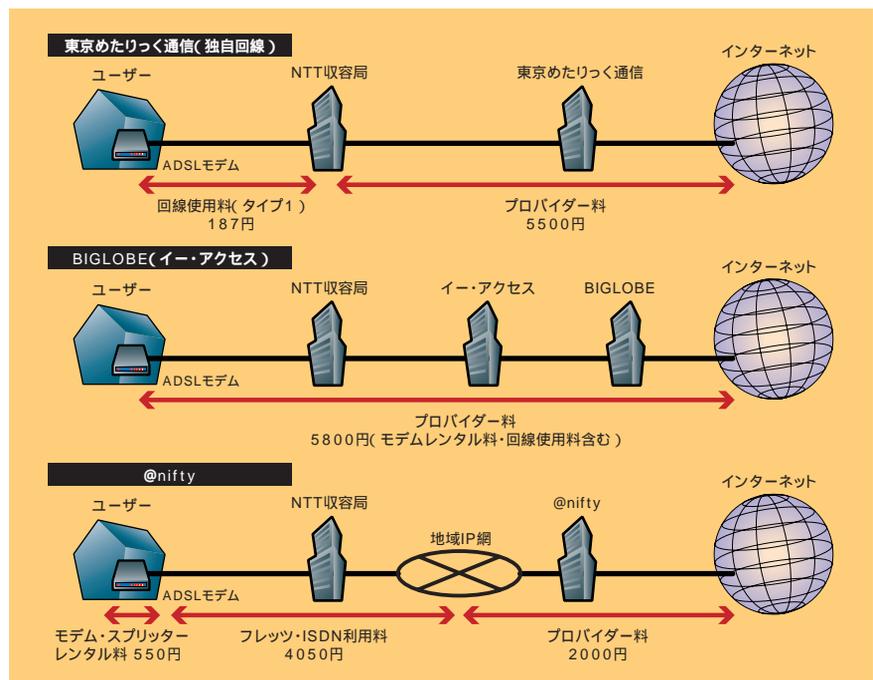
【順位の決定方法】月額料金の安い順

プロバイダー名	月額料金	初期費用	通信速度	回線	モデムタイプ	Web
1 ReSET.JP	4,137円 ¹	20,800円(U)/27,800円(R)	256k(上下とも) ¹	アッカ・ネットワークス	ルーター	www.reset.jp
2 DS Networks	5,400円	19,400円(U)/33,400円(R)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	ルーター/USB	www.ds-networks.com
2 WAKWAK	5,400円 ²	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	ブリッジ	www.wakwak.com
4 SANNET	5,500円	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	イー・アクセス	ルーター/USB	www.sannet.ne.jp
5 アルファインターネット	5,580円	4,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	ブリッジ	www.alpha-net.ne.jp
6 ぶらら	5,600円	3,600円	下り1.5M、上り512k	フレッツ・ADSL	ブリッジ	www.plala.or.jp
7 東京めたりっく通信	5,687円	32,000円	下り1.6M、上り288k	独自回線	ルーター	www.metallic.co.jp
8 DION	5,700円	6,600円	下り1.5M、上り512k	独自回線	ブリッジ	www.dion.ne.jp
8 OCN	5,700円	27,800円	下り1.5M、上り512k	アッカ・ネットワークス	ルーター/USB	www.ocn.ne.jp
8 ODN	5,700円	6,600円	下り1.5M、上り512k	J-DSL	ルーター	www.odn.ne.jp

¹ 1.5Mbpsで接続した場合には5円/分の従量課金(上限1,550円)
² 2月間転送量が1ギガバイト以上の場合には100円/100メガバイトの従量課金
 (U)...USBタイプ、(R)...ルータータイプ

最安のReSET.JPは 速度で料金が変わる

もっとも基本的な項目である「月額料金」の安さのランキングでは、「ReSET.JP」が他社に1,000円以上の差を付けてのトップとなった。ReSET.JPの料金体系はやや特殊で、基本料金内では通信速度が256kbpsで、1.5Mbpsで接続すると1分5円の従量課金が発生している。もっとも、従量課金には上限があるため、最高でも月額5,687円というやはり安い部類に入る料金で収まっている。次に安いプロバイダーは「DS Networks」と「WAKWAK」の5,400円となるが、ここからはプロバイダー間の差はわずかなものとなり、あまり差はないと言える。なお、ここでの月額料金は、プロバイダー料や回線使用料などの、ユーザーが支払うすべての料金の合計金額となっている(右図参照)。



Ranking-2 初期費用ランキング

【順位決定方法】モデムタイプごとの初期費用の安い順

USBタイプ

	プロバイダー名	回線事業者	初期費用	月額料金	通信速度	Jump
1	@nifty	アッカ・ネットワークス	12,600円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
2	ASAHIネット	アッカ・ネットワークス	13,400円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.asahi-net.or.jp
3	JustNet	イー・アクセス	14,300円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.justnet.ne.jp
4	@nifty	イー・アクセス	15,500円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
5	DreamNet	イー・アクセス	17,100円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.dream.com

ルータータイプ

	プロバイダー名	回線事業者	初期費用	月額料金	通信速度	Jump
1	ODN	J-DSL	6,600円	5,700円	下り1.5M、上り512k	www.odn.ne.jp
2	@nifty	アッカ・ネットワークス	19,600円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
3	JustNet	イー・アクセス	23,800円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.justnet.ne.jp
4	ASAHIネット	アッカ・ネットワークス	25,600円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.asahi-net.or.jp
5	DreamNet	イー・アクセス	26,600円	5,800円	下り1.5M、上り512k	www.dream.com

ブリッジタイプ

	プロバイダー名	回線事業者	初期費用	月額料金	通信速度	Jump
1	WAKWAK	フレッツ・ADSL	3,600円	5,400円 ¹	下り1.5M、上り512k	www.wakwak.com
1	ぶらら	フレッツ・ADSL	3,600円	5,600円	下り1.5M、上り512k	www.plala.or.jp
1	ZERO	フレッツ・ADSL	3,600円	6,000円	下り1.5M、上り512k	www.zero.ad.jp
他多数						
	DION	独自回線	6,600円	5,700円	下り1.5M、上り512k	www.dion.ne.jp

¹ 1月間転送量が1ギガバイト以上の場合には100円/100メガバイトの従量課金

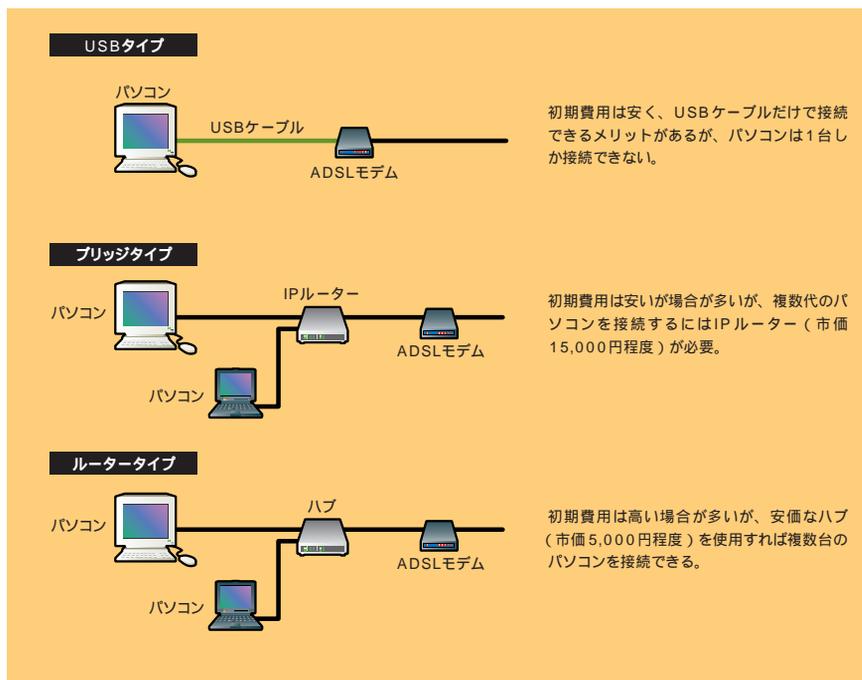
初期費用の安さなら フレッツ・ADSL対応プロバイダー

次に、加入の際に気になる「初期費用」の安さのランキングを、ADSLモデムのタイプ別に見てみよう。

USBタイプではもっとも安い@niftyをはじめとして、上位には入会キャンペーンとして初期費用を安くしているプロバイダーが並んでいる。各社のホームページで、キャンペーン期間がいつまで続くのかを必ず確認しておこう。

複数台のパソコンを接続するには、USBでなくルータータイプを選ばなければならない。ルータータイプは初期費用が高額なプロバイダーが多いなか、ODNの安さは際立っている。

ブリッジタイプを使っているフレッツ・ADSLとDIONは、初期費用がかなり安いのが特徴だ。ここで例としてあげた3社以外でも、ほとんどのプロバイダーは数千円程度の初期費用となる。ただし、複数台のパソコンを接続するには、IPルーターが必要になることをお忘れなく。



ブロードバンドも機能で選ぼう 付加サービスで選ぶ ADSLプロバイダー

多くのプロバイダーがADSLに対応した現在では、単にADSLが使いたいというだけではプロバイダーは選べない。これからはメールやウェブといった付加サービスも、ADSLを選ぶ際の重要なポイントだ。ここでは、基本料金で利用できるメールアドレスの個数と、ホームページの基本容量という観点から、ADSL対応プロバイダーのランキングを見ていこう。

Ranking-3 メール機能ランキング

【順位の決定方法】基本料金で利用できるメールアカウントの多い順

プロバイダー名	アカウント数	アカウント追加料金	月額料金	回線事業者名	初期費用	通信速度	Web
① AT&T WorldNet	5	-	6,600円	フレッツ・ADSL	3,600円	下り1.5M、上り512k	www.att.ne.jp
① NET24インターネット	5	月額500円/5個	6,900円	フレッツ・ADSL	5,600円	下り1.5M、上り512k	www.net24.ne.jp
③ Highway Internet	4	-	6,000円	フレッツ・ADSL	3,600円	下り1.5M、上り512k	www.highway.ne.jp
			6,100円	イー・アクセス	21,450円(U)/35,100円(R)	下り1.5M、上り512k	
④ ZERO	3	月額100円/1個	6,000円	フレッツ・ADSL	3,600円	下り1.5M、上り512k	www.zero.ad.jp
⑤ ASAHIネット	2	月額200円/1個	5,800円	アッカ・ネットワークス	13,400円(U)/25,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.asahi-net.or.jp
			5,800円	イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	
			6,000円	フレッツ・ADSL	4,550円	下り1.5M、上り512k	
⑤ People	2	月額100円/1個	5,800円	イー・アクセス	21,600円(U)/35,300円(R)	下り1.5M、上り512k	www.people.or.jp
			5,800円	フレッツ・ADSL	3,600円	下り1.5M、上り512k	
⑤ アルファインターネット	2	月額500円/1個	5,580円	フレッツ・ADSL	4,600円	下り1.5M、上り512k	www.alpha-net.ne.jp

(U) ...USBタイプ、(R) ...ルータータイプ

メールアドレスの多さなら AT&TとNET24

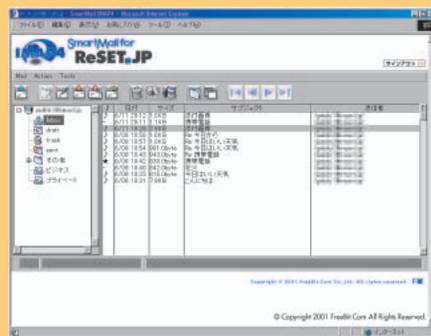
家族全員でADSLを使いたいと思っている人は、メールアドレスの数を忘れずにチェックしておこう。なかには、メールアドレスが追加できないプロバイダーや、メールアドレスの追加料金が高いプロバイダーもある。

上のランキングは、基本料金でメールアドレスが複数もらえるプロバイダーをまとめたものだ。ランキングトップは、基本料金で5つのメールアドレスが利用できる、AT&T WorldNetとNET24インターネットの2社だ。このほかにも、複数のメールアドレスが欲しいユーザーは、Highway Internet(4つ)やZERO(3つ)といったプロバイダーのほか、メールアドレスの追加料金が安いReSET.JPやInfoSphere(いずれも月額100円/1アカウント)などを検討対象にするといえよう。

ブロードバンド時代のメールサービス

ADSLのような高速回線であれば、大きなファイルが添付されたメールでも短時間で読み込める。こうしたメリットを活かすために、東京めたりっく通信ではメールボックスの容量制限を廃止し、1通あたりのメール容量も100Mバイト程度まで許可している。特に仕事でメールを使うことの多いユーザーには有効なサービスだ。

また、ReSET.JPのように、IMAP4に対応したプロバイダーも魅力的だ。IMAP4はサーバー側ですべてのメールを管理するタイプのサービスで、会社と自宅との両方で同じメールを読みみたい場合などに有効だ。また、IMAP4の場合にはメールソフトとサーバーで同期を取る必要があるが、これもADSLのような高速回線であれば、ハードディスク内のメールファイルを読むのとほとんど同じ感覚で利用できる。



ReSET.JPが提供しているメールソフト「IMAP4 Client xEngine」。IMAP4にも対応している。

Ranking-4 ウェブ容量ランキング

【順位決定方法】基本料金で利用できるウェブ容量の多い順

プロバイダー名	ウェブ容量	HP追加料金	月額料金	初期費用	回線	Web
1 ReSET.JP	1GB	-	4,137円 ¹	20,800円(U)/27,800円(R)	アッカ・ネットワークス	www.reset.jp
2 東京めたりっく通信	100MB	月額9,800円/1GB	5,687円	32,000円	独自回線	www.metallic.co.jp
2 interQ MEMBERS	100MB	-	8,500円	6,600円	フレッツ・ADSL	members.interq.or.jp
			7,500円	19,800円(U)/29,800円(R)	イー・アクセス	
4 リンククラブインターネット	75MB	-	7,100円	6,600円	フレッツ・ADSL	info.linkclub.or.jp
5 BIGLOBE	50MB	-	6,800円	3,600円	フレッツ・ADSL	www.biglobe.ne.jp
			5,800円	21,600円(U)/35,600円(R)	イー・アクセス	
			5,800円	17,600円(U)/29,800円(R)	アッカ・ネットワークス	
5 AT&T WorldNet	50MB	-	6,600円	3,600円	フレッツ・ADSL	www.att.ne.jp
5 ASAHIネット	50MB	月額180円/5MB	7,250円	4,550円	フレッツ・ADSL	www.asahi-net.or.jp
			7,050円	21,600円(U)/35,600円(R)	イー・アクセス	
			7,050円	13,400円(U)/25,600円(R)	アッカ・ネットワークス	

¹ 1.5Mbpsで接続した場合には5円/分の従量課金(上限1,550円)

ここでも強しReSET.JP
1ギガバイトは魅力的!

自分のホームページを持っている人は、個人ホームページサービスの内容でADSLプロバイダーを選ぶのもいいだろう。ここでは、個人ホームページのスペースとして使えるディスク容量の多さでランキングを作成してみた。

ランキングトップは、ユーザー1人あたりなんと1ギガバイトものディスクスペースが使えるReSET.JPだ。ただし、ホームページとして使うだけなら、1ギガバイトも必要になるユーザーはまずいないだろう。ReSET.JPではこのスペースを、ユーザーが自由に使える「ネットワーク上のハードディスク」として提供しているのだ。ADSLのような高速回線があれば、こうし

た使い方も十分に実用的だと言えるだろう。

一方、東京めたりっく通信では標準のホームページサービスでストリーミング機能に対応しているほか、本格的なストリーミングが可能となる専用サーバーもユーザーに提供している。こうした、ADSLの環境を前提としたディスクサービスは、これからプロバイダーを選ぶ際には要チェック項目だと言える。

ストレージサービスを活用しよう

これまでのプロバイダーでは、「ホームページ用」としてユーザーにディスクスペースを提供してきた。これに対して、用途をホームページに限定せず、自由に利用できるネットワーク上のディスクスペースとしてユーザーに提供する「オンラインストレージサービス」と呼ばれるサービスが増えてきている。特に、ADSLであればアップロードやダウンロードも高速なので、こうしたサービスの利用価値はさらに高まる。

上のランキングでトップのReSET.JPでは、1Gバイトというディスクスペースを提供しているが、このスペースはホー

ムページのために用意されているわけではない。パソコンのハードディスクのバックアップや、仕事で使うファイルの受け渡しなど、ネットワーク上に1Gバイトのスペースがあれば、さまざまな使い方が考えられる。

また、@niftyでも、月額500円で1Gバイトまで利用できる「WebPocket」を開始している。WebPocketでは各種ファイルのストリーム再生に対応しているだけでなく、ストリーミングファイルは数秒おきのサムネール画像で確認できるなど、ストリーミングへの対応が強化されているのが大きな特徴となっている。



@niftyのオンラインストレージサービス「WebPocket」。月額500円で1Gバイトまで使え、ストリーミング再生にも対応している。

外出先でも快適に使いたい!

モバイルで選ぶ ADSLプロバイダー

ADSL回線は、自宅や会社などで使う常時接続回線だ。そのためプロバイダーを契約するときにダイヤルアップ環境を意識することは少ない。しかし外出が多いユーザーは、ADSL契約と同じプロバイダーを使って出先からダイヤルアップ接続できると便利だ。ここではダイヤルアップ環境も用意されているプロバイダーをピックアップしてみた。

Ranking-5 ダイヤルアップ併用ランキング

【順位決定方法】ダイヤルアップ時の追加料金がかからないプロバイダーの中で、月額料金の安い順

プロバイダー名	月額料金	国内アクセスポイント	海外ローミング	回線事業者	初期費用	通信速度	Jump
1 DS Networks	5,400円	121か所	-	イー・アクセス	19,400円(U)/33,400円(R)	下り1.5M、上り512k	www.ds-networks.com
2 SANNET	5,500円	114か所	GRIC(97か国):20円/分 iPass(143か国):30円/分	イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.sannet.ne.jp
3 OCN	5,700円	567か所	独自(8か国):10円/分 GRIC(97か国):18円/分	アッカ・ネットワークス 東京めたりつく通信	27,800円(U)/27,800円(R) 32,000円	下り1.5M、上り512k 下り1.6M、上り288k	www.ocn.ne.jp
3 ODN	5,700円	179か所	iPass(143か国):15円/分	J-DSL	6,600円	下り1.5M、上り512k	www.odn.ne.jp
5 @nifty	5,800円	198か所	独自(4か国):無料 独自(20か国):10円/分 GRIC(97か国):20円/分	アッカ・ネットワークス イー・アクセス	12,600円(U)/19,600円(R) 15,500円(U)/28,100円(R)	下り1.5M、上り512k 下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
5 BIGLOBE	5,800円	213か所	UUNET(35か国):10円/分 GRIC(97か国):20円/分 iPass(143か国):20円/分	アッカ・ネットワークス イー・アクセス	17,600円(U)/29,800円(R) 21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k 下り1.5M、上り512k	www.biglobe.ne.jp
5 JustNet	5,800円	155か所	iPass(143か国):30円/分	イー・アクセス	14,300円(U)/23,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.justnet.ne.jp
5 Panasonic Hi-HO	5,800円	180か所	XO(1か国):30円/分 iPass(143か国):30円/分	イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	home.hi-ho.ne.jp
5 People	5,800円	145か所	NTTPC(97か国):20円/分	イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.people.or.jp
5 So-net	5,800円	207か所	独自(3か国):無料 GRIC(97か国):無料	独自回線	19,800円(U)/32,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.so-net.ne.jp

(U)...USBタイプ、(R)...ルータータイプ

アクセスポイントの数と 海外アクセスポイントがカギ

上の表は、ダイヤルアップ接続に別途料金がかからないプロバイダーを月額料金の安い順に選んだものだ。安い順といっても数百円しか差がなく、実際には、対応するアクセスポイントの数や海外アクセスポイントの有無で選ぶことになる。

ところで、プロバイダーによっては二重ログオンの防止という意味で、ADSL回線接続中は、ダイヤルアップ接続ができないところもあるので注意したい。そのようなプロバイダーでは、出先からダイヤルアップ接続して自宅のADSL回線に接続されたパソコンを操作はできない。

外出先でのアクセスには セカンドプロバイダー

モバイル環境でのアクセスを考えたとき、ADSL回線とダイヤルアップ接続とで別のプロバイダーを利用するという考えもある。ダイヤルアップ接続を頻繁に利用しないのであれば、従量制の料金体系を選ぶと、そのほうが割安になるケースもある。

ただしADSL回線とモバイル環境とで別のプロバイダーを使う場合、ADSL回線のプロバイダーから発行されたメールアドレスをモバイル環境では利用できない。

最近はPOP Before SMTPという認証システムにより、どの回線であってもメールの送受信ができるプロバイダーも多い。

しかし一律に自社の回線以外からはメールの送信を排除するように設定されているプロバイダーもあり、そのようなプロバイダーをADSL回線として契約した場合、別のプロバイダーからダイヤルアップ接続してメールの送受信はできない。

Ranking-6 モバイル対応ランキング

【順位の決定方法】PIAFS64k対応のプロバイダーで、月額料金の安い順

プロバイダー名	月額料金	PIAFS2.0	PIAFS2.1	DoPa	PacketOne	回線	初期費用	通信速度	KJump
1 SANNET	5,500円	68か所(P)	(D)			イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.sannet.ne.jp
2 ぷらら	5,600円	PIASネット	(D)			フレッツ・ADSL	3,600円	下り1.5M、上り512k	www.plala.or.jp
3 OCN	5,700円	50か所	50か所		x	アッカ・ネットワークス	27,800円(U)/27,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.ocn.ne.jp
						東京めたりっく通信	32,000円	下り1.6M、上り288k	
3 ODN	5,700円	14か所	(D)			J-DSL	6,600円	下り1.5M、上り512k	www.odn.ne.jp
5 @nifty	5,800円	11か所(P)	(D)			アッカ・ネットワークス	12,600円(U)/19,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.nifty.com
						イー・アクセス	15,500円(U)/28,100円(R)	下り1.5M、上り512k	
5 BIGLOBE	5,800円	(P)	(D)			アッカ・ネットワークス	17,600円(U)/29,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.biglobe.ne.jp
						イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	
5 JustNet	5,800円	16か所(P)	26か所	x	x	イー・アクセス	14,300円(U)/23,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.justnet.ne.jp
5 Panasonic Hi-HO	5,800円	31か所(P)	31か所(D)			イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	home.hi-ho.ne.jp
5 People	5,800円	(P)	30か所	x	x	イー・アクセス	21,600円(U)/35,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.people.or.jp
5 So-net	5,800円	14か所	14か所(D)	x	x	独自回線	19,800円(U)/32,800円(R)	下り1.5M、上り512k	www.so-net.ne.jp
5 U-netSURF	5,800円	31か所	31か所	x	x	イー・アクセス	23,600円(U)/37,600円(R)	下り1.5M、上り512k	www.netsurf.ad.jp

(P)...PIASネット：全国53か所に設置された、通話料のみで接続できるアクセスポイント
 (D)...DAL：全国どこからでも均一料金(10円/分、夜間13円/分)で接続できるアクセスポイント
 (U)...USBタイプ、(R)...ルータータイプ

携帯電話やPHSでも利用できるプロバイダー

PIAFS 64kに対応しているプロバイダーを安い順に並べたものが上の表だ。ダイヤルアップ接続と同様、二重ログイン防止機能が備わっているプロバイダーもいくつかあるので注意したい。

PHSで通信する場合、全国規模で使いたいのであれば、全国53箇所に設置された通話料のみで利用できるアクセスポイントである「PIASネット」や全国どこでも10円/分の均一料金で利用できる「DAL」に対応しているかどうかポイントだろう。

また、携帯電話やPHSで通信する場合には、それらの通信事業者が提供するインターネット接続サービス(たとえばNTTドコモのmoperaなど)を利用するという手もある。あまり頻繁にモバイルを利用しないのであれば、それらサービスで十分だ。

せっかくだから満喫しよう！ ADSLコンテンツ

ADSLの大容量を活かしたコンテンツ。それは、映像や音楽のストリーム配信だ。とはいえストリーム配信には、サーバー側に十分な回線帯域が必要となるため、それらを提供するサイトは、まだ少ない。

そういったなか、ADSL事業者であるイー・アクセスを中心に、BeMyWay  というストリーム配信サイトが立ち上げられ、ブロードバンドコンテンツ実証実験が始まった。この実験は、提携プロバイダー間でキャッシュすることで多くのユーザーのアクセスに耐えられるようにしたり、認証や課金の仕組みを考えたりするものだ。

BeMyWayでは、すでにいくつかのストリーム配信が始まっているほか、ストリーム配信をしているサイトへのリンクがある。

ADSLを導入してはまだストリーム配信を体験していない人は、一度訪れてみるとよい。



 bemyway.eaccess.net

1.5メガをオフィスで活用しよう!

SOHO用途で選ぶ

ADSLプロバイダー

下り速度だけを見れば、ADSLは光ケーブルを使った専用線とほぼ同程度であり、SOHO環境で常時接続線として使うには十分な能力をもっている。その際、必要な項目は、独自ドメインでの運用の有無や固定IPアドレスが利用できるかどうかだ。ここでは、SOHO環境にどのようなプロバイダーが適するのかを検討してみよう。

Ranking-7 ホスティング併用ランキング

【順位の決定方法】ADSLとホスティングのセットコースで、料金の安い順

プロバイダー名	回線事業者	初期費用	月額料金	ウェブ容量	CGI	メールアドレス数	通信速度	ドメイン
1 interQ MEMBERS	イー・アクセス	6,600円	7,500円	100MB		1個	下り1.5M, 上り512k	members.interq.or.jp
	フレッツ・ADSL	32,800円	7,500円				下り1.5M, 上り512k	
2 アルファインターネット	フレッツ・ADSL	3,600円	8,380円	100MB		1個	下り1.5M, 上り512k	www.alpha-net.ne.jp
3 JustNet	フレッツ・ADSL	13,600円	8,500円	25MB		5個	下り1.5M, 上り512k	www.justnet.ne.jp
4 NET24インターネット	フレッツ・ADSL	5,600円	9,100円	50MB		20個	下り1.5M, 上り512k	www.net24.ne.jp
5 リンククラブインターネット	フレッツ・ADSL	13,600円	9,200円	200MB		20個	下り1.5M, 上り512k	info.linkclub.or.jp

おもなADSL対応プロバイダーのホスティングサービス (ADSLとは別料金)

プロバイダー名	初期費用	月額料金	ウェブ容量	CGI	メールアドレス数	ドメイン
ASAHIネット	10,000円	2,800円	50MB		1個	www.asahi-net.or.jp
DION	3,000円	3,500円	20MB	x	10個	www.dion.ne.jp
	3,000円	6,000円	50MB		25個	
InfoSphere	3,000円	3,500円	50MB		無制限	www.sphere.ne.jp
TikiTikiインターネット	10,000円	2,800円	30MB		3個	www.tiki.ne.jp
	10,000円	5,800円	100MB		10個	
U-netSURF	2,500円	2,000円	20MB			www.netsurf.ad.jp
	2,500円	4,000円	50MB			
	2,500円	7,000円	100MB			
リムネット	4,300円	3,700円	100MB		10個	www.rim.or.jp

メールサービスは別料金

上り回線の遅さをカバーする ホスティング

ADSLは非対称の通信速度であり、上り(アップロード)は比較的低速だ。そのためADSLを引いて、そこにサーバーを構築するという用途にはあまり向かない。

そこで上り速度の遅さをカバーするのに使いたいのがホスティングサービスだ。ホスティングサービスを契約し、ホームページをホスティング側に任せてしまえば、ユーザーに高速にコンテンツを提供できるようになる。

ホスティングサービスを提供しているプロバイダーを安い順に選んだものが、上の表だ。表は、ADSL回線+ホスティングサービス込みになっているものと、別途ホスティングサービスを契約する形のものに分けてある。ADSLプロバイダーの通信費だけの月額料金が概ね5,000円~6,000円であることを考えると、ADSLプロバイダー+ホスティングサービス込みになったものは、割安であるといえる。

またホスティングサービスを契約すると、独自ドメインが使えたり、その独自ドメインを使

ってメールを運営できたりするというメリットもある。とくに会社で利用する場合には、社員の数だけメールアドレスが必要になるため、ホスティングサービスを導入するメリットは高い。

もっとも、ホスティングサービスは、ADSLプロバイダーではなく、ホスティング専用の業者と別途契約するという考えもある。

ホスティング専用の業者は、サービス体系もやはり豊富なので、ホスティングに多少のコストをかけてもよいのであれば、ADSLプロバイダーのホスティング契約をするよりも、ホスティング専門の業者と別途契約したほうが、自由度は高まる。

Ranking-8 固定IP・独自ドメイン利用ランキング

【順位の決定方法】固定IPアドレスが使えるコースで、料金の安い順

プロバイダー名	回線	月額料金	初期費用	通信速度	IPアドレス	独自ドメイン利用	モデムタイプ	Web
1 ZOOT	フレッツ・ADSL	6,600円	3,600円	下り1.5M、上り512k	1個	×	ブリッジ	www.interlink.or.jp
		8,000円	3,600円	下り1.5M、上り512k	1個			
2 BIGLOBE	イー・アクセス	9,300円	43,600円	下り1.5M、上り512k	1個	×	ルーター	www.biglobe.ne.jp
3 InfoSphere	フレッツ・ADSL	12,400円	8,600円	下り1.5M、上り512k	1個	×	ブリッジ	www.sphere.ne.jp
		17,400円	15,600円	下り1.5M、上り512k	8個			
4 Canonet	イー・アクセス	28,000円	40,600円	下り640k、上り320k	4個以上		ルーター	www.canonet.ne.jp
		54,800円	40,600円	下り1.5M、上り512k	4個以上			
5 WAKWAK	フレッツ・ADSL	29,400円	13,600円	下り1.5M、上り512k	8個		ブリッジ	www.wakwak.com
		36,400円	13,600円	下り1.5M、上り512k	16個			
6 SANNET	イー・アクセス	36,000円	55,600円	下り1.5M、上り512k	8個		ルーター	www.sannet.ne.jp
7 東京めたりっく通信	独自回線	40,062円	100,000円	768k(上下とも)	8個以上		ルーター	www.metallc.co.jp
		60,062円	100,000円	1.6M(上下とも)	8個以上			
8 OCN	アッカ・ネットワークス	50,000円	67,100円	512k(上下とも)	8/16個		ルーター	www.ocn.ne.jp
9 KCOM	東京めたりっく通信	53,000円	150,000円	768k(上下とも)	応相談		ルーター	www.kcom.ne.jp
		89,000円	150,000円	1.6M(上下とも)	応相談			

自分でサーバーを持ちたい人のための固定IP

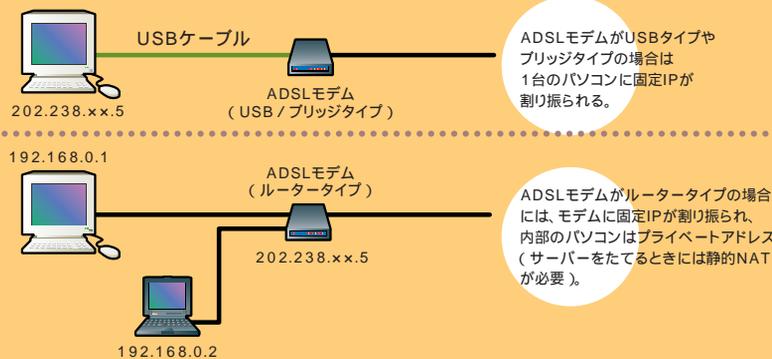
ホスティングサービスを使えばADSL回線にサーバーを設置する必要はないが、あえてADSL回線にサーバーを設置したいこともあるだろう。その場合に必要なのが固定IPだ。固定IP契約はIPがアドレス不変なため、出先から自宅のパソコンにアクセスしたい場合にも便利だ。

固定IPサービスには、おもに個人向けの1つしかIPアドレスがもらえないものと、法人向けの複数個のIPアドレスがもらえるものに分けられる。

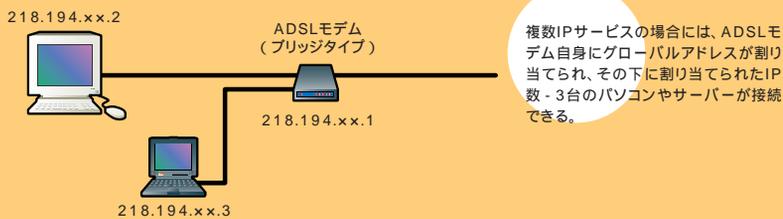
複数IPアドレスの契約が割高なのは、おもに信頼性やサポート体制の違いだ。たとえばJDSLオフィスは、収容されるユーザー数を減らすことで、同じ局内に収容されたほかのユーザーからの影響を受けにくくしている。またOCN DSLアクセスでは、SLAを適用し、回線の品質保証をしている。

固定サービスの接続イメージ

1個のIPアドレスが固定で割り振られるサービス



複数個のIPアドレスが固定で割り振られるサービス



モデムのタイプなど
選択の基準はいろいろ

ADSL会社の 特徴で選ぶ

あなたにピッタリのプロバイダーは見つかったらどうか？ ここでひと息つきたいところだが、複数のADSL回線事業者に対応しているプロバイダーを選んだ場合は、引き続きADSL回線事業者を決定する必要がある。

接続スピードなどのスペック的な部分は、現状ではほぼ横並びだが、USB接続のサポートや固定IPサービスなどの独自サービスと、スペック以外の細かいながらも見逃せない部分で各社とも特色を出している。その点をよく検討しておこう。

また、ADSLモデムのレンタルがあるか、買

い取りしか用意されていないかという点も大きい。初期費用で大きく差が開くうえに、買い取りだと4年ほど使わないがぎり全体としてもレンタル費用のほうが安い。その点もチェックしておきたい。

プロバイダーと比べると関心の低い回線事業者だが、たとえばイーアクセスやアッカでは一度申し込むと乗り換えるときには再び始めから申し込まなくてはならず、高額な初期費用を再度支払う必要がでてくるため、簡単に「乗り換えよう」とはいかない。はじめの業者で満足できるよう、導入時からしっかりと選んでおこ

プロバイダーは無事決まったが、選んだプロバイダーが複数のADSL回線事業者に対応している場合は、ADSL回線事業者を決める必要がある。各事業者それぞれの特徴を把握して、自分のニーズにあったところを選ぼう。



たとえばBIGLOBEは複数のADSL回線事業者に対応しているプロバイダーの1つだ。

@nifty	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
	アッカ・ネットワークス	TOHKnet
	HTnet	STnet
@nsk	フレッツ・ADSL	HTnet
ASAHIネット	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
	アッカ・ネットワークス	
BIGLOBE	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
	アッカ・ネットワークス	TOHKnet
	HTnet	STnet
DION	フレッツ・ADSL	DION ADSL
DreamNet	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
Ds Networks	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
DTI	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
FIT Web	フレッツ・ADSL	HTnet
Highway Internet	フレッツ・ADSL	イー・アクセス

InterQ	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
isao.net	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
JANISネット	有線放送	独自回線
JustNet	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
mitene	フレッツ・ADSL	HTnet
OCN	フレッツ・ADSL	アッカ・ネットワークス
	東京めたりっく通信	
ODN	フレッツ・ADSL	ODN J-DSL
Panasonic Hi-Ho	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
People	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
SANNET	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
so-net	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
U-net SURF	フレッツ・ADSL	イー・アクセス
コアラ	フレッツ・ADSL	独自回線
リムネット	フレッツ・ADSL	イー・アクセス

フレッツ・ADSL

 www.ntt-east.co.jp/flets/

 www.ntt-west.co.jp/flets/

NTT東日本と西日本とが展開しているサービスで、ほとんどのISPが対応している。その数はほかの回線業者と比べてもダントツだ。下り1.5Mbps、上り512kbpsと標準的なスピードでコースは1つだけ。さらに高速の通信やSOHO向けの特別なサービスなどは用意されていない。また、気を付けないといけないのがフレッツは地域IP網を利用しているという点だ。インターネットに入るまえにNTT独自のネットワークを利用するため、その混雑具合によってはスピードに影響が出る可能性がある。

NTTから配布されるセットアップガイドではPPPoEドライバーによる接続が前提となっているが、ルーターを利用しても問題なく接続できる。



スピード	
上り	1.5Mbps
下り	512kbps

(タイプ1)

初期費用	2,800円
接続料金	4,600円

(タイプ2)

初期費用	2,000円
接続料金	6,200円

(注) 接続料金は、スプリッターとモデムのレンタル料込み。また、実際にはこれにプロバイダー料が加わる。

東京めたりっく通信

 www.metallic.co.jp

 www.nagoya-metallic.co.jp (名古屋めたりっく通信)

 www.osaka-metallic.co.jp (大阪めたりっく通信)

ADSL回線事業者とISPを兼ねているために以前はほかのISPからは利用できなかったが、現在はOCNなどからでも利用できる。

プランの豊富さでは他社を引き離しており、上り1.6Mbps、下り288kbpsのFamilyシリーズをはじめ、固定IPを提供するSOHOシリーズ、上り下りともに高速通信のSDSLシリーズなどが用意されている。

また下り3Mbpsのプランも年内に開始する予定だ(大阪めたりっく通信ではすでに開始している)。ほかにも各電話局間での光ファイバーを進めるなど、高速化に向けての

アップグレードが期待できるのが魅力だ。

モデムはすべてルータータイプだ。レンタルが用意されていないために、初期費用が高めになってしまう。



スピード	
上り	1.6Mbps
下り	288kbps

初期費用	32,000円
接続料金	5,500円

(注) 初期費用はモデムの買い取り費用を含む。接続料金はプロバイダー料金を含む。

イー・アクセス

 www.eaccess.net

フレッツ・ADSLに次ぐ対応ISPの多さを誇るのがイー・アクセスだ。サービス提供地域は首都圏と関西圏と名古屋の3つだが、各地域内でのエリア拡大を推し進めている。

スピードは下り1.5Mbps、上り512kbpsと標準的だが、モデムはルータータイプ以外にUSBタイプも用意されている。またBIGLOBEでは常時接続ならではの固定IPアドレスオプションも用意されている。

プロバイダーに申し込むだけで手続きが完了し、月額料金もプロバイダーからの一括請求となるため、ユーザーは接続業者を意識せ

ずにすむのが楽だ。しかしISPの乗り換えの際には、イー・アクセスに対応しているISP間の乗り換えでも新規に契約しなおす必要がある。その点に注意しよう。



スピード	
上り	1.5Mbps
下り	512kbps

初期費用	30,000円から35,500円
接続料金	5,400円から6,300円

(注) タイプ1のルータータイプ。初期費用にはモデム買い取り費用を含む。接続料金はプロバイダー費を含む。価格差はプロバイダーによる。

アッカ・ネットワークス

 www.acca.ne.jp

回線速度は下り1.5Mbps、上り512k bpsと一般的だが、速度が低下した場合には帯域を確保するなど、高品質な回線の提供を目指している。

現在のところ対応しているISPは4社だけだが、サービスエリアは東京、大阪、名古屋とその周辺のみから、今後は各政令指定都市にも拡大していく予定だ。

モデムはルータータイプ以外に、USBタイプがある。モデムは原則としてレンタルだが、@niftyではユーザーが自身でモデムを購入して設置できるプランもあるので、特定の

モデムを利用したい場合はおすすめだ。

また、支払いがISPと一括ですむのは便利だが、対応ISP間の乗り換えでも契約しなおす必要がある。この点にも注意してほしい。



初期費用

24,200円から25,000円

接続料金

5,700円から5,800円

通信速度

下り1.5Mbps

上り512kbps

(注) タイプ1のルータータイプ。
初期費用にはモデム買い取り費用を含む。
接続料金はプロバイダー費を含む。
価格差はプロバイダーによる。

日本テレコム (J-DSL)

 www.odn.ne.jp

日本テレコムのプロバイダー「ODN」への接続サービスを提供しているADSL回線業者だ。ODNはフレッツ・ADSLにも対応しているが、タイプ1の月額料金が5,700円とフレッツに比べて850円安い。また回線速度も下り1.5Mbps、上り512kbpsとフレッツと同じだが、地域IP網ではなく日本テレコムのバックボーンを使うので、よりカタログ値に近い数字が出る可能性が高い。

付加サービスでは、グローバルIPを8個提供する「J-DSLオフィス」というSOHO向けプランがある。

モデムはルータータイプで、月額500円でのレンタルとなっているが、2001年9月分までは無料になるキャンペーンを実施している。



(タイプ1)

初期費用 6,600円

接続料金 5,700円

(タイプ2)

初期費用 5,800円

接続料金 7,500円

(注) J-DSLパーソナルの料金。
レンタル料がキャンペーンにつき無料なので、接続料金にはレンタル料を含まず。

そのほかの事業者

 www.dion.ne.jp

 www.stnet.co.jp

 www.tohcn.net

 www.htnet.co.jp

 www.janis.co.jp

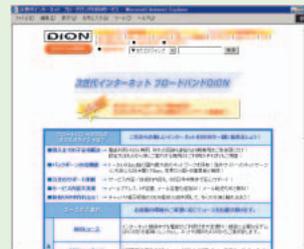
誌面の都合で紹介できなかったそのほかのADSL回線事業者の概要を紹介しよう。

まずはKDDIのインターネット接続サービスである「DION」独自のADSL回線事業者「DION ADSL」だ。スピードは下り1.5Mbpsと上り512kbpsと一般的だが、SOHO向けのコースを用意している。KDDIはブロードバンドユーザー専門のコンテンツ「ブロードバンドDION」を立ち上げるなど急速にブロードバンド化を進めており注目だ。タイプ1の初期費用は6,600円から、接続料金はレンタル料抜きで5,700円だ。

つぎに四国電力系のSTNetをはじめとするTOHKnetやHTNetなど、電力系のADSL回線事業者からも目が離せない。大手の事業者が首都圏や関西圏に集中しているのに比べて、地方で展開している傾向にある。@niftyやBIGLOBEなどの大手のほか、地方ISPにも回線を提供している。タイプ1だと初期費用が4,800円から、接続料は5,480円からだ。

それ以外にも、長野県のJANISネットなど、地方の家庭に敷設されている有線放送網を利用した回線事業者もある。ADSLに

悪影響を与えるといわれるISDNとも無縁であるため、理想的な回線だといえる。このように電話線にとらわれないサービスも続々とはじまっている。



ここをおさえておけば大丈夫

ADSL 乗り換えのポイント

自分にピッタリのADSL回線事業者が見つければよいよ乗り換え作業の開始だ。ここでは、乗り換え作業のためのポイントとなる事柄をいくつか紹介したい。詳細な乗り換えの手順は次のページで解説するため、それに従って項目をチェックしながら進んでいけばスムーズに乗り換え作業が完了するはずだ。

以下のポイントは、実際のADSL工事前めどを立てておきたい事項で、しかも予想外に「ハマる」可能性もある。工事日の直前ではなく、ある程度余裕を持って検討をはじめておいたほうがよいだろう。

ポイント3 ISDNからの 乗り換えは 特に注意！

ISDNからADSLに乗り換える場合は、注意事項が特に多いので気をつけよう。

まず、電話番号が変更になる場合がある。その場合は知人に新しい番号（工事前にNTTとの電話打合せで決定）を知らせる準備しておく必要がある。

また、ADSLでは電話とFAXの同時使用やiナンバーといったサービスを受けられない。それに近い環境を保つ必要があれば、自動切り替え機能のついたFAX電話を用意しておくなどの準備も忘れないようにしよう。

電話を2回線引いていれば、1つをISDNのまま残すことも考えられるが、ISDN回線が近くにあるとADSLの速度が低下する可能性がある。

ISDNからの乗換えで確認すること

- ・電話番号が変わる可能性がある
- ・iナンバーは利用不可
- ・電話とFAXの同時使用は不可
- ・ISDN独自のサービスはすべて解約する（通常は打合せ時にNTTが指摘してくれる）

ポイント1 ハードウェアの準備をしよう！

ADSLでの接続は多くの場合LANカードが必要になる（イー・アクセスなど、USBによる接続が可能な場合もある）。

そこで、現在LANカードを持っていない人は、事前に用意しておこう。ノートパソコンならばPCカード型のLANカードがあるため接続は簡単だが、デスクトップパソコンの場合は、本体を開いてLANボードを挿入する必要がある。自信のない人はくわしい人が販売店に相談して、ADSL開通工事前にLANボードが使える状態にしておきたい。



パソコンとモデムの間はLANケーブルによって接続する。

ポイント2 配線ルートをあらかじめ決めておこう！

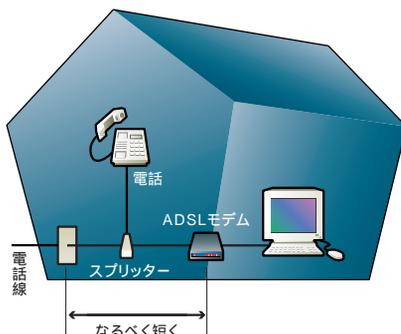
ADSLは電話線で引き回すとノイズが入りやすくなり回線速度が低下しやすくなる。これを避けるために、モジュラージャックからADSLモデムまでの距離を極力短くして、おもな屋内配線はLANケーブルで行いたい。工事前にモジュラージャックのなるべく近くにADSLモデムを設置するためのスペースを用意して、LANケーブルによる配線のルートを考えておこう。

LANケーブルは電話線より太いため取り回しが厄介だが、LANケーブルを隠すためのモールやカーペットの下を通せる扁平LANケーブルなども市販されている。また高価になるが



ADSLモデムとハブは意外と大きい。モジュラージャックの近くに置き場所を用意しておこう。

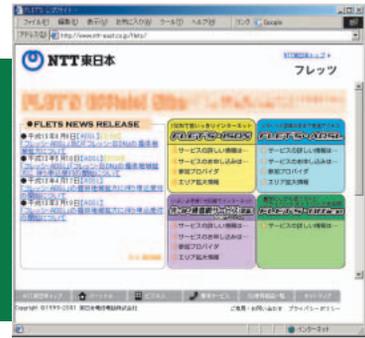
無線LANを利用する方法もある。LANケーブルでの配線が難しければ導入を検討してもよいだろう。



フレッツ・ADSLに加入する

NTTのウェブページでフレッツ・ADSL加入を申し込む

フレッツ・ADSL (NTT東日本)のページ



準備

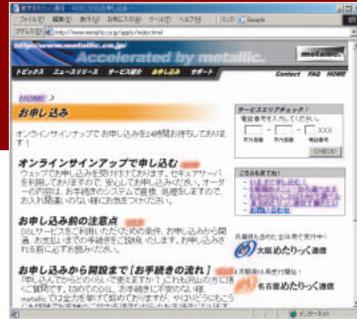
開通日が決定する
(番号変更の場合は新しい番号が通知される)

ADSLモデムが送られてくる

配線ルートを考えておく

各プロバイダーのページから
接続業者を選択して加入する

イー・アクセス、
めたりっく通信など
フレッツ以外に
加入する



めたりっく通信のページ

工事日

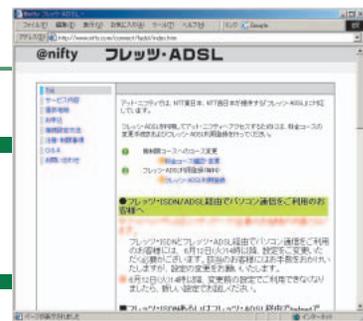
宅内配線

接続テスト

ADSL 開通

申し込み

プロバイダー申し込み



フレッツ・ADSL利用登録ページ (@nifty)

ADSL 関係者への 提言!

これまでよりも高速になったとはいえ、現状ではADSLはまだまだ使い勝手のよくない点もある。ここでは最後にADSLをより快適なものにするにはどんなことが必要なのかをADSL関係者への提言のかたちでまとめてみた。これらが解決されれば、ADSLはまた一步、理想の通信手段へと近づくことになるだろう。

編集部

提言 1 バックボーンを公開せよ!

アンケートの頁でも書いたが現状ではADSLの速さを計る厳密な手段はない。それはNTTの局舎からユーザー宅までの距離による減衰のため条件によって速度は一定でないからだ。しかし、本来ならダイヤルアップと同様にバックボーン速度で目安は付く。ところが、プロバイダーはほぼ公開しているもののADSL事業者がバックボーン速度を公開していないため、推量すら難しいのが現状だ。また、NTTも地域IP網内の速度を公開していない。今後、ADSLユーザーが増えれば増えるほどバックボーンの品質がキーになるため、どちらでも早期の公開を望みたい。これはADSL事業者にとっても差別化を図るための1つのポイントにできるはずだ。

提言 2 自由に乗り換えさせよ!

たとえばイー・アクセスやアッカのユーザーがプロバイダーを乗り換えようとした場合、たとえ同じ回線事業者を使うプロバイダー間の乗り換えであっても回線事業者への初期費用も含めてすべてやり直さなくてはならない。つまり、言い換えれば一度申し込んだが最後、多少の不満はあっても乗り換えるなど言っているようにも取れる。これでは、こうした回線事業者のサービスには気軽に入れなくなってしまふ。ユーザーの立場からすると異なる回線事業者間でも融通がきくのがベストだが、それが困難ならせめて同じ回線事業者のプロバイダーは自由に乗り換えられるようにしてほしい。

提言 3 モデムは自由に選びたい!

たとえば、フレッツ・ADSLならモデムはブリッジタイプというように、現在は回線事業者ごとに使えるモデムのタイプがほぼ決まっている。@niftyなど一部では自由に選べることもあるが、これでは当然ユーザーのニーズは満足できない。モデムを自由に選べるようにする

には、機器ごとの相互接続性の確認などが必要になるため、一概にADSL事業者に任を問うことはできないが、ユーザーの立場からすると、これはISDNで自由にTAを選べたようにユーザー自身が選択できる“売り切り”にして欲しい。

提言 4 手軽なセキュリティー機能を提供せよ!

ADSLは常時接続なのでダイヤルアップよりも格段にクラッキングされる危険が高くなる。しかし、現状ではユーザー各人がパーソナルセキュリティーソフトを導入するなどして対策するしかない。これではあまりに不親切だ。とはいえ、ネットワーク側で一律にブロックをかけられて使えない機能が出るなどの不具合も歓迎できないので、たとえばオプションでネットワーク側でセキュリティーがかけられるメニューを用意するとか、たとえばエリクソンのUSBケーブルモデム「PipeRider」のように“セキュリティーボタン”を装備したモデムを

導入するなどして、手軽にセキュリティーを確保できるようにしてほしい。

提言 5 品質保証や高速メニューなど特徴あるサービスを!

現状では実のところ各社ともあまりサービス内容に特徴はない。これでは、ハッキリ言ってまたダイヤルアップと同様に価格競争に陥ってしまう。ADSLは速度に差が出せるのだから、たとえば価格は高くなっても3Mbpsなど他社にはない高速メニューを充実させるとか、バックボーンの一部速度を保証する“品質保証型”サービスを提供するとかして差別化を図ってほしい。また、メールやホームページは乗り換え前のプロバイダーを使い続けるので、接続だけでよいという人向けの低額サービスや、その反対に大容量ディスクや複数のメールアドレスを求め人向けのサービスももっと増えていだろう。要はユーザーのニーズに合わせてさまざまな選択肢をそれに見合う適切な価格で提供することが望まれるのだ。

提言 6 開通までの待ち時間を短縮せよ!

最近ではかなり改善されているが、相変わらず開通までの待ち時間は長い。申し込みが殺到して、手続きや機器の確保が遅れる事情もわかるが、これはぜひ改善してほしい。また、そもそも申し込みすらできない地域が顕在しているのも、一種のデジタルデバイドの要因として問題だろう。特に後者はその地域に住んでいる人には切実な問題だけに早期改善を期待したい。

提言 7 窓口を一本化せよ!

ADSLはプロバイダーのほか、回線事業者やNTTが関与するため、どこになにを尋ねたらよいのが非常にわかりにくい。できればこれはプロバイダーが代行するなどして、窓口を一本化してほしいところだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp